



BMテクニックを用いたハイブリッドレジン研磨法

高分子系歯冠修復は、メタルフリーレストレーションのニーズの増加に伴い、今後更に普及すると思われるが、当初から研磨に長い時間を費やし、その上、艶が出ない、口腔内で艶が失われる等の問題点が指摘されている。

そこで、従来の研磨の問題点とその解決法「BMテクニック」について解説していきたい。

従来の研磨法では、形態修正時にカーボランダムやハンドピースタイプのカーバイドバーを使用するが、カーボランダムの荒い砥粒では、ファイラーの表面に深い傷をつけてしまう。ミクロン単位のガラスファイラーを平面に切るといふ発想が無い為、この様な働きをする技工切削器具は、現在も存在しない。

そこで筆者は、ハイブリッド型硬質レジンの研磨を根本的に見直し、研磨材の最適な使用方法を導き出した結果、レジンマトリックスを必要以上削らず、ファイラーとレジンマトリックスを同一平面で磨いていく事が理想との結論に達した。

BMテクニックに用いるブルーホワイトカーバイドバーは、刃先の幅が1ミクロンと薄く、鋭い切れ味を持つ。技工用エアターピン、又は技工用マイクロモーターで使用すると、高速でガラスファイラーを切ると

同時に、ファイラーも磨く事が可能である。

ダイヤモンド含有研磨材「磨王(まおう)」は、ファイラーとレジンマトリックスとの間に段差を作らず、磨きをかける事に特化した研磨材である。

ブルーホワイトカーバイドバーと磨王との相乗効果により、緻密な表面が形成され、光沢度の高い補綴物となる。



1. 筆者が使用するブルーホワイトカーバイドバー6種の番手と形状。
左から、7104(フレーム)、7406(エッグ)、9714、7714、7610(以上、テーパーフィニッシング)、7103(コンケーブインタープロキシマル)



2. 技工用エアターピンが無い場合、FGアダプター(デンタルエイド株式会社)を使用すれば、技工用マイクロモーターにFGバーの装着が可能である。



3. 筆者がハイブリッドレジンの研磨に用いるポイント類。
左から、ウールホイール(内外歯材株式会社)、エステニアフェルトホイール(株式会社モリタ)、マルチフィックスV(サイブロン・デンタル株式会社)、ダイヤモンド含有シリコンポイント(株式会社茂久田商会)、ダイヤモンドポリッシャー:セラマスターHP13S(株式会社松風)、シリコンポイント:HR2HP13S(株式会社松風)



4. BMテクニックの為に開発した、ダイヤモンド含有研磨材「磨王(まおう)」(株式会社美須化学研究所)
問い合わせ先:株式会社美須化学研究所 TEL:06-6761-4092



5. BMテクニックによる研磨完了後のハイブリッドレジクラウン